



鎌ヶ谷市国際交流協会広報誌

第62号

2008年(平成20年)12月8日
発行：鎌ヶ谷市国際交流協会
〒273-0195 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷2-6-1
TEL 047-445-1141 (内550)
FAX 047-441-9400
<http://www.kifa.gr.jp>

KIFA PARTY 2008 華やかに集う

「みなさん、こんにちは。本日のKIFAパーティに、ようこそお出でくださいました」
2008年度KIFA PARTYは11月9日(日)午後1時半に始まった。会場の鎌ヶ谷市総合福祉保健センター6階の大会議室には248人(うち外国人31人)の多数が集い、市民レベルの国際交流のひとつときを楽しんだ。



酒井哲郎会長



清水聖士市長



勝又 勝議長



にぎわうパーティ会場

会食

懇談

交流の宴

舞台

お茶席

ブース

左・サンバガールの登場に会場は歓声
右「味・匠の会」の温かいスープが人気



●テーブルを飾る「味・匠の会」の料理

英語、スペイン語、中国語、ハングルをはじめフィリピン、バングラデシュ、タイ、ベトナム、インドネシア、スリランカ、ドイツなどの各国語で「こんにちは」を司会の波多野勝夫研修部会副会長が呼びかけると、それぞれの国の人から元気のいい返事が戻ってくる。

主催者を代表してKIFAの酒井哲郎会長があいさつする。次いで、来賓の清水聖士鎌ヶ谷市長が登壇し、こう話した。「鎌ヶ谷市の外国人登録数が年々増えています。これは異文化に触れ、その価値を知る機会も増えることでいいことです。鎌ヶ谷市を国際色のある街にするため、KIFAの活躍に期待を寄せています」

そして、我孫子市、柏市などの近隣国際交流協会の来賓やKIFA語学講座講師が紹介されたあと、勝又勝市議会議長の乾杯の音頭で、「交流の宴」はスタートした。

会食、懇談の時間となり、色とりどりの料理が並んだ8つのテーブルを囲み、楽しい話の花が咲く。外国人の胸のネームカードには、その人の国の小さい国旗が添付され、外国人同士も相手の国がすぐ分り好評だ。

料理については、昨年に引き続き「味・匠の会」に

協力を得た。サンドイッチやデコレーションフルーツ、きのこオニオンの温スープ、かぼちゃの冷スープなどで、さすが練達の男の腕前を感じさせる味だった。

●会場も舞台も一緒にアトラクション

舞台上でアトラクションが2時過ぎから開始された。トップは、「鎌ヶ谷ハーモニカ・アンサンブル」の演奏。懐かしい秋の童謡メドレー、「ラ・クンパルシータ」などタンゴの曲を軽快に奏でる。市民7人のハーモニカ愛好者の見事な演奏に聴衆はうっとりする。

二番手は、「スマイリーキッズ」の小学生30人による英語の歌の発表。ギターを持つステファニー・ノックス先生の指導で、みんな一生懸命、声を揃えて歌う。

つぎに、「法典鼓濤」の面々の太鼓演奏が会場内外を大音響で轟かせる。「ぶち合わせ太鼓」「秩父屋台ばやし」を老若男女9人が連打する熱演だ。(2面に続く)

●清水市長もお茶席で一服

6階ロビーでは、鎌ケ谷市茶道協会のご婦人たちによるお茶席が設けられ、お点前によるお茶とお菓子のおもてなしを受けた。日本伝統の味と作法を体得しようと多くの外国人も着席。清水市長も席に着き一服いただく。K I F A パーティならではのものだ。

清水市長もお茶席で歓談



●にぎわうブース

まずは「韓国」コーナー。ハングル講座の受講生が中心になって、観光ポスターを背景に、菓子、玩具、民芸品を陳列して韓国文化を紹介。

お隣りは、数々の料理コンクールで全国でも上位入賞している鎌ケ谷高校料理研究部の手作りクッキーの出店。売上金はユニセフに寄付するそうで、売れ行きも上々の模様。

ハングル講座ブース



鎌ケ谷高校料理研究部



「スマイリーキッズ」（K I F A子ども英会話教室）のブースもあり、スタンプラリーに出る子どもたちでにぎやかだ。

そして、「青少年ワカタネ・ロングステイ」のコーナー。2008年夏の現地レポート写真を30枚紹介し、注目と関心を集めていた。

●サンパとビンゴでフィナーレ

舞台には五香のサンパチーム「セレージャ」のダンサーの情熱的な踊り。赤、青、緑、金色のド派手な衣装で舞台狭しと、そして会場内を練り歩いて踊りまくるパフォーマンスに、会場全体が大エキサイト。

最後は、ビンゴゲーム。茂野製麺(株)、東葛食品(株)などから寄付された景品を目指し、ビンゴゲームはパーティの最後を盛り上げ「K I F A PARTY 2008」は4時過ぎフィナーレ。



富士山が見えた!! 根場いやしの里で

鎌ケ谷市国際交流協会（K I F A）主催の「2008年度・国際交流バスツアー」は、富士山が望める河口湖・忍野八海などをめぐり、「外国人と日本人の交流」や「満足と思い出」を残した有意義で楽しい1日となった。

◎11カ国56人の外国人が参加

9月28日（日）午前7時、参加者96人は2台のバスに分乗、鎌ケ谷市役所前を出発。半数以上の56人が外国人。国と地域はスリランカ、ブ

KIFA
バスツアー 2008

初秋の富士山・河口湖・忍野八海をめぐる

◎ジェームズ君の見た「ふじ山はとてもうつくしかった」



ニュージーランド・トライデント高校からの留学生の2人、鎌ケ谷高校に通うジェームズ君（右）とジュリアさん（左）は忍野八海で

ちの日本人友だちは、わかすぎました。さんねんでした。それにもかかわらず、おもしろかったです。

ワイン工場からふじ山の下に近い村に行きました。とても古い村で、ふじ山が見えました。とてもうつくしくて、たくさんしゃしんをとりました。見物した後、バスに乗って帰りました。帰っている間に、バスでいくつかのゲームとカラオケ

をしたりしました。

7じころかまがやに着きました。バスツアーがおわりで、とてもかんしゃをかんじて、私とジュリアはその日を楽しみました。



（上）ブラジル人家族、（右）フィリピン人と日本人も一緒に



ラジル、中国、台湾、タイ、ベトナム、フィリピン、インド、インドネシア、バングラデシュ出身者たちだ。

さらにニュージーランド・姉妹都市ワカタネのトライデント高校からの、鎌ケ谷高校留学生の2人（James Armenti・17歳、Julia Ford・16歳）が、クラスメートと一緒にバスツアーを楽しんだ。ジェームズ君が旅の記憶を日本語で書いて、広報委員会に寄せてくれた。ワカタネの高校生が見た、感じた日本での一日は……。

●いつまでも忘れない……今年の夏、ワカタネと鎌ケ谷で高校生活をおくった5人の交換留学生たち。10月26日（日）南部公民館で関係者が集い「お別れの交流会」を開いた。5人はそれぞれの国での再会を誓い合った。



（上）根場いやしの里で、（下）忍野八海で記念撮影



◎帰りはバス内でのゲームで盛り上がる

忍野八海、河口湖湖畔、赤富士ワイナリー見学、根場いやしの里をめぐってきたツアーは帰路へ。帰りの楽しみは何といってもゲーム。はちまき競争とビンゴゲーム。外国人も日本人も一緒になって興奮状態。これに加えて豪華賞品？に車内はワーワー。バスも終点鎌ケ谷市役所向け快走。来年のバスツアー行き先きのリクエストは、ほとんどの参加者が「箱根・芦ノ湖遊覧船」または「鎌倉」。

交流部会員はこれを念頭に、来年のバスツアーも“さらに楽しく”と思いを新たにした。

◎ワカタネ女子高校生の日本の高校生活

また、鎌ケ谷高校で1カ月、日本の高校生活を体験したジュリアさんは、ワカタネの高校と比べ規則が厳しいという感想とともに、「私は日本での生活が好きです。また来たい」と、すっかり日本が好きになってしまった心情と惜別の一文を日本語で残してくれた。

2人の文は明らかな誤記以外、原文のまま掲載した。



「お別れの交流会」に集まった5人の高校生たち

◎「私はまた日本に来たい」

今日は。私のなまえはクリスケマビッチ・ジュリアです。ニュージーランド人です。7月27日から8月23日まで、3人のかまがや高校生はニュージーランドにいました。3人のかまがや高校生は私とアーメンティ・ジェームズの家にとまりました。8月31日に私とジェームズは日本にきました。今私たちはかまがや高校に行っています。

ニュージーランドでは、私たちはトライデント高校という学校に行ってます。トライデント高校とかまがや高校はとてもちがうと思います。トライデント高校より、かまがや高校のきそくの方がきびしいです。かまがや高校は4かいだてのたてものですが、トライデント高校は1かいしかありません。

私はかまがや高校での生活を楽しんでいます。かまがや高校には学校の後に、クラブかどうかがあります。トライデント高校には、学校の後にクラブかどうかは、ありません。しかし、時々学校の後に、みんなはスポーツのれんしゅうがあるときがあります。

私は日本での生活が好きです。日本の文化がとてもおもしろいと思います。私は日本人のように住むつもりでした。今、私は日本人のように住んでいます。私は日本にいる間日本の文化をたいけんしました。楽しみました。私はニュージーランドに帰りたくないです。

毎日、私はあたらしい日本語を勉強しています。しょうらい、私はまた日本に来たいです。日本ではたくさんの人たちと出会って、たくさん友だちがいます。10月31日に、私はニュージーランドに帰りますので私はさみしいです。ありがとうK I F A。

新たなふれ合いの場

「KIFA交流カフェ」オープン

外国の人たちと、日本のことを 日本語でいろいろ話しましょう

日本語学習から日本理解へ——。鎌ケ谷市に住んでいる外国人で、日本語を学びたい人たちには、KIFA日本語教室部会主催の学習教室が、毎週火曜日の夜と隔週日曜日の午前に開かれています。

学習者の外国人のなかに、教科書を離れて日本人と自由に話したい希望者がいるので、その「希望をかなえてあげたい」と、日本語教室部会から提案があり、交流部会としても、外国人と日常的な異文化交流の機会を増やしていくという観点から、交流事業の本来の姿であると位置付け、共同で立ち上げることに賛同して、運営委員会で審議、承認されたのが、新たなふれ合いの場「KIFA交流カフェ」です。

他の自治体でも、この種の事業が国際交流の大きな

柱として定着しているという実態も踏まえ、将来的には、外国人同士の情報交換・交流の場を提供できるよう、発展することも期待できます。

参加する外国人はもちろんのこと、主催するKIFAのボランティアたちも、カフェに集い話し、楽しむ「異文化交流の場」として育てていきましょう。

第1回の試みとして、12月7日（日）に以下のようなメニューで開店します。お出でいただいたお客さんからの評判については、次号でお伝えします。

●オープニングのメニュー

日時：12月7日（日）13時30分～15時30分

場所：中央公民館 第5学習室

対象：KIFA会員、鎌ケ谷市に在住の外国人で日本語を多少話す人。

人数：外国人7～10人、日本人スタッフ5～10人

内容：これからのテーマなどいろいろ

●「第2回 英会話サロン」

2008年度第2回「英会話サロン」が、10月5日（日）の13時30分から、市総合福祉保健センターで開催された。今回も3人の外国人ゲストスピーカーをお招きした。ゲスト名（敬称略）とテーマは以下の通り。

- ①デレック・スミス（カナダ）＝私の健康法
- ②チャン・チョワイ（中国）＝香港のお粥は好き？
- ③クリス・アユス（ガーナ）＝ガーナの今と昔

初のアフリカ・ガーナ出身のゲスト 地図を広げて興味津々、理解深める

それぞれの講師が最初に5分ずつスピーチをした後、サロン参加者41人（KIFA会員21人）は3つのグループに分かれ、3人のゲストがグループを巡回し、テーマに関して、英語だけの会話・討議の時間を持った。



アフリカ出身のゲストは初めてだったので参加者は興味津々。地図を広げながら、チョコレートと

野口英世くらのなじみだったアフリカのガーナに理解を深めた。＝写真上

*第3回「英会話サロン」のお知らせ

12月14日（日）・13時30分から第3回「英会話サロン」を、市総合福祉保健センター6階大会議室で開催します。参加希望の人は、KIFA事務局までお問い合わせ下さい。

● お知らせ

◆KIFA語学講座閉講式

日時：2月1日（日）午後2時30分～

会場：市総合福祉保健センター6階大会議室

◆KIFA外国家庭料理講習会

日時：2月22日（日）午前10時～3時

会場：南部公民館

講師：野村千賀さん（広東料理）、

ラシェールさん（オーストラリア料理）

◆KIFA事務局の年末年始のお休み 12月29日（月）から新年1月6日まで事務局はお休みにさせていただきます。

編集後記

08年最後の『KIFA Plaza』を届けします。上記のような新たな企画もスタートしました。KIFAの運営はボランティアによって運営されています。やがて成田新高速鉄道が開通すると、ますます国際化する鎌ケ谷市の交流事業に関心と興味のある方は、事務局までお申し出下さい。

広報委員会 いまご覧のこの広報誌とホームページの取材と編集をします。

交流部会 バスツアーなど交流事業の企画と実行。

研修部会 4つの外国語講座など運営や文化交流。

日本語教室部会 市在住の外国人に日本語を教えたり日本の生活や民俗行事について話します。